

## 1. 圏域の概要

### (1) 水産業の概要

#### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

浜名湖・遠州灘圏域は、御前崎市から愛知県境までの遠州灘と、浜名湖内を範囲とし、東から御前崎市、掛川市、袋井市、磐田市、浜松市、湖西市の地先である。

圏域内の漁業協同組合は浜名漁業協同組合と遠州漁業協同組合の2組合である。

#### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

浜名湖は65km<sup>2</sup>の面積を有する汽水湖である。浜名湖を代表する魚種はアサリであり、令和元年度は年間870トン程度が漁獲されている。近年アサリはツメタガイやクロダイの食害が問題となっている。また気候の変動などもあり、漁業者は殻長制限や漁獲量制限など実施しているものの、アサリの漁獲量は激減している。また静穏な浜名湖では、アサリ漁業のほか、ノリ、カキなどの養殖も盛んに行われている。

一方、遠州灘は砂浜海岸であり、200m以浅の平坦な大陸棚が発達していることから、年間2,800トン程度漁獲されるシラスを中心に、タイ類、タチウオなどを対象とした船びき網漁業が行われている。

#### ③ 水産物の流通・加工の状況

圏域内の産地市場としては、福田魚市場、舞阪魚市場、新居魚市場のほか、雄踏、鷲津に浜名漁協の共販所が存在する。村櫛、気賀、入出の共販所は平成28年3月31日付けで廃止された。舞阪地区と新居地区では背後地に加工場が立地し、これら魚市場で水揚げされたシラスは全て、釜揚げやちりめん加工され、主に地元で流通する。福田漁港内には食事処や直売所が常設された「渚の交流館」（平成28年オープン）を有効活用し、シラスの知名度向上を図っている。

第2次静岡県産地市場再編整備計画（平成23年12月）において、福田魚市場は運営の効率化を図りつつ維持し、舞阪魚市場については県内流通の拠点となる産地市場として整備を進めることとしている。

#### ④ 養殖業の状況

浜名湖沿岸ではカキが年間 220 トンほど、湖南部沿岸ではノリが 460 トンほど養殖されている。水揚げされた生産物のほとんどは養殖業者自らが加工し、主に地元で消費されている。

クルマエビは栽培漁業が行われ、湖内で放流されたクルマエビが漁獲されている。福田漁港では冬季の漁業収入源確保を目的に平成 25 年からワカメの試験養殖を実施し、試験レベルでの安定生産が可能なが確認されている。

#### ⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

漁業経営体、漁業就業者の状況について以下に示す。少子高齢化や若者の都市圏への流出などを背景に漁業就業者数は年々減少傾向にあり、今後も同様の傾向が続くものと推測される。

漁港名	組合員総数	正組合員数	准組合員数	漁業経営体数
福田漁港	308	96	207	23
舞阪漁港	636	379	257	379
村櫛漁港	256	23	233	23
浜名港	-	-	-	-
入出漁港	117	40	77	41
鷲津漁港	85	33	52	29

#### ⑥ 水産業の発展のための取組

つくり育てる漁業の一環として、平成 2 年から行われているトラフグ稚魚の放流が、冬季に延縄漁業により漁獲されるトラフグの漁獲量に貢献している。

#### ⑦ 水産基盤整備に関する課題

遠州灘のシラス船びき網漁業などでは、新規雇用者もみられるが、浜名湖内では漁業者の高齢化が進んでおり、就労環境の改善が必要となっている。

#### ⑧ 将来的な漁港機能の集約化

集約化の予定無し。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由； 舞阪魚市場を擁する舞阪漁港を拠点とする圏域。
② 圏域範囲	御前崎市から愛知県境までの遠州灘と、浜名湖	設定理由； しらすをはじめとする遠州灘の沿岸漁業と浜名湖内漁業の拠点である舞阪漁港を中心とした一体性を有する範囲。
③ 流通拠点漁港	舞阪漁港（第3種）	設定理由； 舞阪漁港は、浜名湖内における養殖の拠点であるとともに、遠州灘における漁業の陸揚基地となっている。
④ 生産拠点漁港	福田漁港（第4種）	設定理由； 福田漁港はシラス漁が盛んであるとともに、御前崎から浜名湖に至る一連の海岸線における唯一の漁港である、避難港に位置づけられている。 また、耐震強化岸壁を有しており、県西部地域が被災した場合の復旧拠点の一つであるため、災害時の漁港利用者の避難誘導計画を策定する。
⑤ 輸出拠点漁港	設定なし	設定理由；

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	3,911
圏域の総漁港数	5
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1

圏域の登録漁船隻数(隻)	873
圏域内での輸出取扱量(トン)	

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	浜名湖養殖生産拠点地域
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	カキ類、ノリ類
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）(トン)	カキ類 212 トン ノリ類 464 トン
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	カキ類 848 百万円 ノリ類 107 百万円

## 2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

#### ①流通拠点等の機能強化

流通拠点基地である舞阪漁港では、船舶の大型化への対応にあわせ、高齢化している漁業者が快適で効率的な生産活動の実施を目指す。なお、舞阪漁港の高度衛生管理は、課題である地震津波対策を検討する中で、漁港利用者とともに、用地利用計画や漁港施設の再配置などと併せ、今後検討していく予定である。

福田漁港では、陸揚げや待機漁船の時間ロスを解消し、水産物の品質の向上等に資するとともに、陸揚げ作業の安全性や軽労化に配慮するため、浮棧橋を新たに設置し、水産生産コストの削減及び就労環境の改善に努める。

舞阪漁港及び福田漁港は、外郭施設、係留施設及び輸送施設が東日本大震災以降に見直した想定地震・津波に対応しておらず、その対策を行っていく。

### (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

#### ①環境変化に対応した漁場生産力の強化

当圏域では、特に浜名湖において、底質や流況の改善等、環境変化に対応した適切な対策を実施することで、生態系全体の生産力を底上げし、水産物の生育の場としての水域環境の整備を推進する。

漁獲統計の解析やモニタリング調査等により海洋環境変化の把握にも努めていく。

#### ②災害リスクへの対応力強化

御前崎から浜名湖に至る一連の海岸線における唯一の漁港である福田漁港では、港内埋没防止対策により避難港としての機能向上を目指すとともに、安定した漁業活動の確保を図る。

舞阪漁港は、栈橋形式の臨港道路で連結されるアイランド型の一帯が主要陸揚エリアとなっているが、主要な外郭施設、係留施設及び輸送施設は東日本大震災以降に見直された想定地震・津波に対応しておらず、これらの施設が大規模に被災した場合、広範囲にわたり水産物供給の低下をもたらすことから、流通機能の確保のための耐震・耐津波対策が急務となっている。

福田漁港は、県西部地域の防災拠点港湾である浜名港を補完する防災港湾に位置づけられており、緊急物資を輸送する耐震強化岸壁を整備済みである。また、震災後における安定的かつ効率的な水産物供給が可能な力強い水産業づくりを行うため、外郭施設や主要陸揚岸壁の耐震・耐津波化を行い、大規模自然災害に備えた対応力強化に努める。

舞阪漁港、福田漁港、村櫛漁港では、老朽化した漁港施設等の持続可能なインフラ管理を行うため機能保全計画の見直しや、予防保全型の老朽化対策へ転換した補修などを実施し機能回復に努めていく。

### (3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

#### ① 「海業」による漁村の活性化

福田漁港では、水揚げされるシラスなどの特産物を中心として、物販・水産物直売機能をもつ施設を整備しており、休日にはイベントが開催されるなど賑わいをみせている。浜名湖など、地域の特色を活かした漁港振興を、漁港所在市町や地元漁協と共に実施し、地域経済の活性化を図る。

## 3. 目標達成のための具体的な施策

### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

#### ① 流通拠点等の機能強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
舞阪	流通機能強化	流通基盤	舞阪	3	流通拠点
福田	流通機能強化	生産基盤	福田	4	—

#### ② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に対応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
榛南(御前崎)	藻場保全事業	水産多面的機能発揮対策事業 沿岸漁場整備実証事業 沿岸漁場整備開発事業

② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
舞阪	安全・安心	流通基盤	舞阪	3	流通拠点
福田	安全・安心	生産基盤	福田	4	—
舞阪	予防保全	機能保全	舞阪	3	流通拠点
福田	予防保全	機能保全	福田	4	—
村櫛	予防保全	機能保全	村櫛	1	—
村櫛	予防保全	港整備	村櫛	1	—
鷺津	予防保全	港整備	鷺津	1	—
舞阪	予防保全	機能増進	舞阪	3	流通拠点
福田	予防保全	機能増進	福田	4	—

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

② 女性など多様な担い手の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

#### 4. 環境への配慮事項

浜名湖は県立自然公園に指定され、重要な水産生物が多様に生息している。湖内では増殖場の整備によって、アサリのみならず多様な底生生物にとって良好な育成環境を確保し、また底生生物の有機物の固定、浄化機能による生育環境改善につながっている。

一方、遠州灘は全域にわたり白砂青松の景観をなし、県立自然公園にも指定されている。このため漁港内に堆積した砂は養浜材として侵食が進む周辺海岸へ投入し、砂浜の再生を図る。また、遠州灘はアカウミガメの産卵地であることから、恒久的な砂輸送施設の稼働にあたっては、産卵に配慮する。

#### 5. 水産物流通圏域図

添付のとおり

#### 6. 当該圏域を含む養殖生産拠点地域図

添付のとおり

#### 7. 漁港ごとの役割や機能分担及び漁港間での連携の状況を示す資料

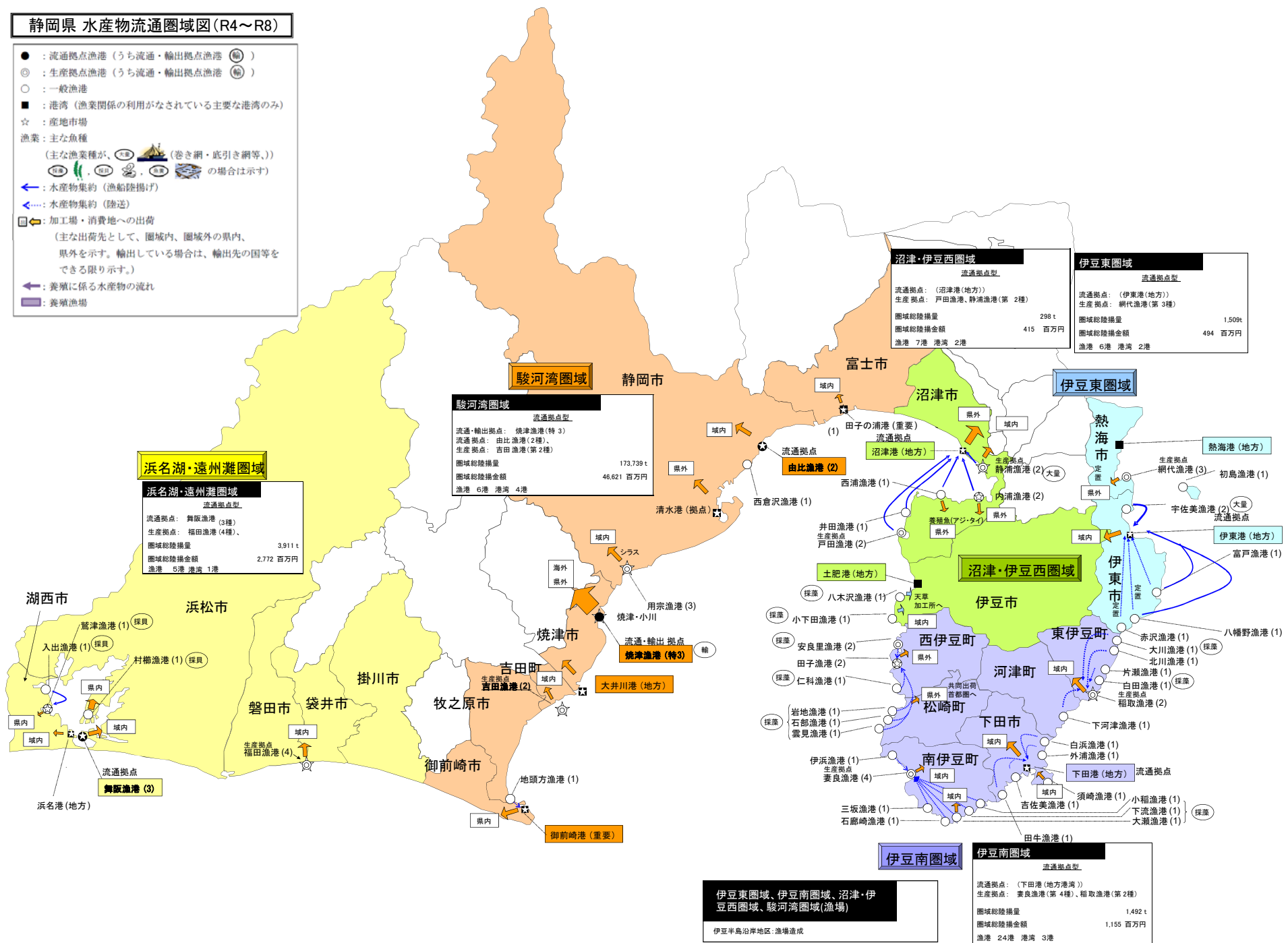
添付のとおり

#### 8. その他参考となる資料

添付のとおり

# 静岡県 水産物流通圏域図 (R4~R8)

- : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
- ◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
- : 一般漁港
- : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)
- ☆ : 産地市場
- 漁業: 主な魚種  
(主な漁業種が、(巻き網・底引き網等))  
(魚類、甲殻類、軟体動物、魚類、魚類) の場合は示す)
- ← : 水産物集約 (漁船陸揚げ)
- ←... : 水産物集約 (陸送)
- ⇄ : 加工場・消費地への出荷  
(主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、  
県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等を  
できる限り示す。)
- ⇄ : 養殖に係る水産物の流れ
- : 養殖漁場



**浜名湖・遠州灘圏域**  
流通拠点型  
流通拠点: 舞阪漁港 (3種)  
生産拠点: 福田漁港 (4種)  
圏域総陸揚量 3,911 t  
圏域総陸揚金額 2,772 百万円  
漁港 5港 港湾 1港

**駿河湾圏域**  
流通拠点型  
流通・輸出拠点: 焼津漁港 (特3)  
流通拠点: 由比漁港 (2種)、  
生産拠点: 吉田漁港 (第2種)  
圏域総陸揚量 173,739 t  
圏域総陸揚金額 46,621 百万円  
漁港 6港 港湾 4港

**沼津・伊豆西圏域**  
流通拠点型  
流通拠点: (沼津港(地方))  
生産拠点: 戸田漁港、静浦漁港 (第2種)  
圏域総陸揚量 298 t  
圏域総陸揚金額 415 百万円  
漁港 7港 港湾 2港

**伊豆東圏域**  
流通拠点型  
流通拠点: (伊東港(地方))  
生産拠点: 網代漁港 (第3種)  
圏域総陸揚量 1,509 t  
圏域総陸揚金額 484 百万円  
漁港 6港 港湾 2港

**伊豆東圏域、伊豆南圏域、沼津・伊豆西圏域、駿河湾圏域(漁場)**  
伊豆半島沿岸地区: 漁場造成

**伊豆南圏域**  
流通拠点型  
流通拠点: (下田港(地方港湾))  
生産拠点: 妻良漁港 (第4種)、稲取漁港 (第2種)  
圏域総陸揚量 1,492 t  
圏域総陸揚金額 1,155 百万円  
漁港 24港 港湾 3港